

資料 1

肥満細胞腫と診断されたイヌ 21 症例について、c-kit 遺伝子エクソン 11 の変異の有無を検出した。さらに 10mg/kg メシル酸イマチニブを連日経口投与し、抗腫瘍効果を RECIST のガイドラインに従って評価した。

c-kit 遺伝子に変異が検出された全ての症例でイマチニブの効果が認められた。

変異の有無

変異 (+) ; 5 症例

変異 (-) ; 16 症例



完全寛解 (CR) / 部分寛解 (PR) ; 10 症例

不変 (SD) / 進行 (PD) ; 11 症例

メシル酸イマチニブの効果

日本獣医生命科学大学 獣医臨床病理学教室 提供

資料 2

肥満細胞腫と診断されたネコ 10 症例について、c-kit 遺伝子エクソン 8 および 9 の変異の有無を検出した。さらにメシル酸イマチニブを経口投与し、抗腫瘍効果を RECIST のガイドラインに従って評価した。

変異の検出された 8 症例のうち 7 症例で効果が認められた。

症例	変異部位 (部位名)	イマチニブ 使用前処置	イマチニブ との併用薬	最良効果 / 最良効果の 出現までの期間 (週)	最終効果 / 使用期間 (週)
1	エクソン 8 (c.1244-1255dup)	None	None	FR / 3	FR / 3
2	エクソン 8 (c.1244-1255dup)	SPN	None	FR / 3	PD / 32
3	エクソン 8 (c.1244-1255dup)	VBL, CLB, P	P	FR / 3	FR / 18
4	エクソン 8 (c.1244-1255dup)	SPN, CFM, VBL, P	VBL, P	CR / 2	CR / 2
5	エクソン 8 (c.1244-1255dup)	SPN, CCNU, VBL, NM	None	SD	SD / 13
6	エクソン 9 (c.1430G>T)	VBL, P	CCNU, P	FR / 2	PD / 11
7	エクソン 9 (c.1430G>T)	None	None	FR / 2	FR / 9
8	エクソン 9 (c.1517-1518del insTT) *	P	None	FR / 3	FR / 12
9	None	P	P	FR / 3	FR / 14
10	None	None	None	SD	SD / 4

SPN; splenectomy, VBL; vinblastine, CCNU; lomustine, CLB; chlorambucil, CFM; cyclophosphamide, NM; nitrogen mustard, P; prednisolone/prednisone, CR; complete remission, FR; partial remission, SD; stable disease, PD; progressive disease.

*エクソン 9 (c.1517-1518del insTT) の変異は当社の検査では検出できません。 日本獣医生命科学大学 獣医臨床病理学教室 提供

資料 3

肥満細胞腫と診断されたイヌ 403 症例およびネコ 54 症例で c-kit 遺伝子変異検査を行い、変異の出現頻度を算出した。

イヌ			ネコ		
変異部位	変異有症例数 / 症例数	変異の割合	変異部位	変異有症例数 / 症例数	変異の割合
エクソン 11	45/403	11.2%	エクソン 8のみ	14/54	25.9%
			エクソン 9のみ	11/48*	22.9%
			エクソン 8および 9	0/48*	0%

*6 症例では、エクソン 9 の検査は未実施

社内データ